

曙機械、中古機に参入

オーバーホール売り手・買い手仲介 ホール供給

【川越】曙機械工業（埼玉県鴻巣市、荒井裕一郎社長）は、フィルム・シートを裁断する抜型裁断機の中古機事業に参入する。年内にも中古機の売り手と買い手を結びつける専用サイトを設け、同社が中古機をオーバーホールして製品を供給する。納期や価格面で中古機の需要が根強い中、適正な機械の流通につなげる。2027年7月期に年25台の販売を見込んでいる。

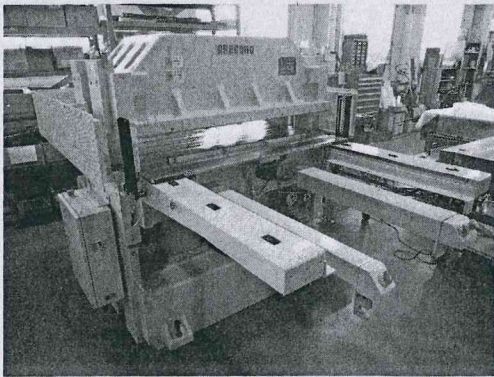
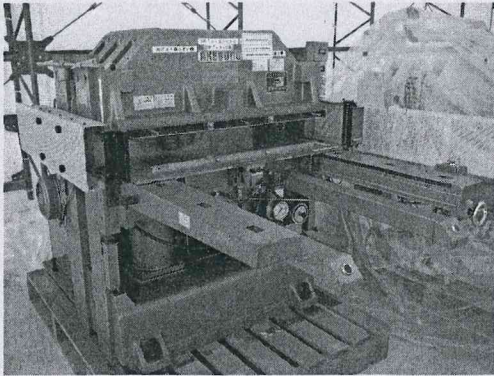
曙機械工業が実施するのは「認定中古機買取販売マッチングサービス」。専用のプラットフォームフォーム（基盤）を設け、中古機を売却したい企業と購入したい企業が、それぞれ売却・購入を希望する中古機の機種や機能、価格などを登録。中古機の販売に結びつける。

売買する中古機は曙機械がオーバーホールを担う。機械の点検修理とともに、安全装置の取り付けといった現行品と同等の安全基準に仕上げる。同社が仲介して売り手・買い手の双方が適正価格で売却・購入できるほか、購入後の故障や不正改造による事故発生などのリスクを軽減できる。

安価な中古機はニーズが根強く、機械ユーザーの事業縮小・廃業などもあり中古機の売却も増えている。このため工作機械メーカーが自社で中古機事業を手がけるなど中古ビジネスも活発化している。

同社は抜型裁断機の総合システムメーカー。機械の設計・開発から部品加工、機械組み立て、アフターサービスまで一貫した体制を敷いている。

抜型裁断機



曙機械工業が中古機をオーバーホールした上で製品を供給する（写真は中古機）
同社が扱う抜型裁断機（新品）

中古機には30～40年前に市場投入した機種もあるため、新事業では設計、製造、営業・サービスなど各部門のベテラン人材を活用する。同社では現在65歳まで就業できるが、新事業開始に合わせて高齢者雇用を促進。ダイバーシティー（多様性）経営を念頭に、70歳雇用実現につなげる。

新品と比べ短納期で

生命科学VB

川崎市産振財団
米機関と

【川崎】川崎市産業振興財団は、欧米で起業支援事業を展開する米バイオラボ（マサチューセッツ州）と、生命科学系ベンチャー・スタートアップの育成・支援に関する連携協定を結んだ。川崎市が7日発表した。

同財団が川崎市殿町地区で運営する研究施設「ナノ医療イノベーションセンター」（i）れぞれが育

インバウンド受け入れ再開

中

コロナ禍で大打撃を受けた北海道では、観光がまとめた北海道ルデンウィーク直前かの3月の延べ宿泊者数から大きなキャスタパーは194万6000人



観光意欲、一

札幌五輪開催から50年目の節目を札幌市。市内中心部では当時建てたビルの再開が相次いでスタート

5月にまとめた低いことが、2021東北イ摘。ただ、ンバウンド意向調査。旅行査」によると、東 発信力を高